



心の季刊誌

もくれん

☆二〇二〇年秋の晋退山式ならびに
☆高照寺開山一三〇〇年記念事業の一つ☆
護摩堂再建に向けて

この護摩堂に正式な堂名を「御蔵不動明王堂」と名づける事にした。その中で護摩を焚くので実質は護摩堂ですが、それは堂内での行法の名前であり、本尊となる不動明王を祀るお堂なので前記の名称が正しいのです。ただ名前が長いので普段の呼び名は「不動堂」「護摩堂」が良いと思います。

高照寺が現在の地に移築されて二百年経ちますが、移築と共に護摩堂（現在の位牌堂）と外蔵が併設されたようです。その当時は密教護摩が焚かれていたと思いますが、その後については先代の時代に「位牌堂」に変更されて密教寺院には必要な護摩堂が無い状況が続いていました。先祖の供養は位牌堂で祀り、現世利益、つまり生きていく時の辛苦からの開放、そして将来への願いを叶えていくのが不動堂での護摩供と分けて考えるのが真言宗寺院の形態です。過去世、現在世、未来世の三世を整えるお堂が在る事により、私たちに与えられた先祖のいのちが未来に生まれて来る人達にまで無事に継承されていく安心が生まれてくるのです。真言宗では大日如来を中心とし、その化身仏である不動明王が具体的に現世において我々をお助けいただく仏さまですから護摩堂は絶対必要なお堂の一つなのです。そのお堂が出来た事は本当にありがたいのです。

来る晋退山式に向けてのご寄進をいただいたお檀家の家々、高照寺の仏様を信仰していただく多くの信者の方々へのお礼として三月の大師講に合わせて不動堂の落慶護摩供の後、二〇二〇年のその日までに百回の護摩を焚いて皆様のお幸せと護摩木に書かれた願いをお不動様に祈願する予定でいます。

不動堂建立のスナップ写真



▲護摩の煙抜き用のダクトです。まるで焼肉屋です(笑)



▲下屋根の再設の様子ですが、この時期はまだ内装にはかかっていません。でも丁寧な仕事をされる大工さんのお陰で綺麗な下屋根が出来ています。



▲下屋根を取りはずし土蔵の扉を外しました



▲本尊を彫るための石が到着した時の写真です

◎ 高照寺開山千三百年記念
永遠に不動堂に安置して祈願し続ける

不動明王ご分身像のご奉納

『御蔵不動明王堂』の堂内の壁に専用の棚を設けて永久に安置し、平成三十一年三月十七日に入魂して奉納者の家内安全等を護摩供養の時に祈願する『不動明王分身像』をどうぞご奉納して下さい。百体限定です。

檀家はもちろん、宗旨に関わらず大師信者の方、『もくれん誌』愛読の方のお申し込みも歓迎します。



● 不動明王一体：奉納金三万円

※ご希望の祈願文四文字と施主名をプレートにして不動尊台に貼ります。お一人で複数申し込みが出来ます。会社名での申し込みも可能です。

● お申し込み方法

お名前とご住所と電話番号を書いて FAX か葉書を利用してお送り下さい。メールでも可能です。申し込み書をお送りします。

● 高照寺 FAX 079-662-3130
667-0043 兵庫県養父市八鹿町高柳
1156番地 高照寺宛
※メールは koosyoji@yahoo.co.jp